ご質問はチャットへどうぞ！

図書館基礎講座2024
「現代の図書館の動向」

2024.2.5(月)13時～15時

小曽川　真貴（こそがわ　まき）

リンクの多いファイルで印刷を想定しておらず、申し訳ありません。
取り急ぎA4に2スライドでグレースケール印刷用に作成しました。

自己紹介/小曽川　真貴（こそがわ・まき）

『図書館雑誌』
「図書館員のおすすめ本」

『図書館雑誌』
2023年2月号書評掲載

- 中京および愛知淑徳大学非常勤講師・日本図書館協会認定司書・中部図書館情報学会理事。 リサーチマップ
- 著書『調べ物に役立つ 図書館のデータベース』（勉誠社）。
- 監修『司書のお仕事』『司書のお仕事2』（勉誠社）。
- 寄稿に内野安彦・大林正智編『ラジオと地域と図書館と コミュニティを繋ぐメディアの可能性』（ほおずき書籍）坂口雅樹編著『人物図書館 ひとはだれでも一冊の本である』（郵研社）、論文に「やおい、JUNE、BL、そして腐女子 腐文化研究事始め」（『中部図書館情報学会誌』2014年54巻）などがある。

J-STAGEにも掲載

目次

1. 現代の図書館の動向：動向をつかむためのリンク集

2. 図書館をめぐる国の動向と最近の動き

①読書バリアフリー法と推進計画

②著作権法改正に伴うデジタル送信の拡大

③コロナ交付金による電子書籍サービスの拡大

半分ぐらいで休憩を入れます

3. 図書館界の最近の動き

新型コロナへの対応等

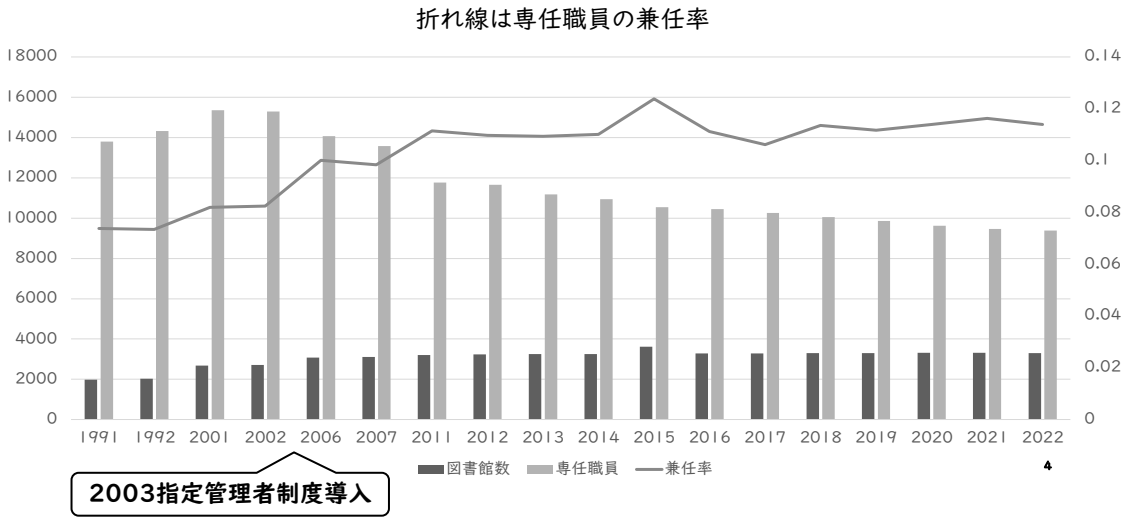
4.図書館業務の外部化と職員の問題および日本図書館協会の提言・意見

①指定管理者制度と業務委託 ②職員の非正規化 ③協会認定司書

3

図書館数は増加、専任職員は減少。

JLA「日本の図書館統計」



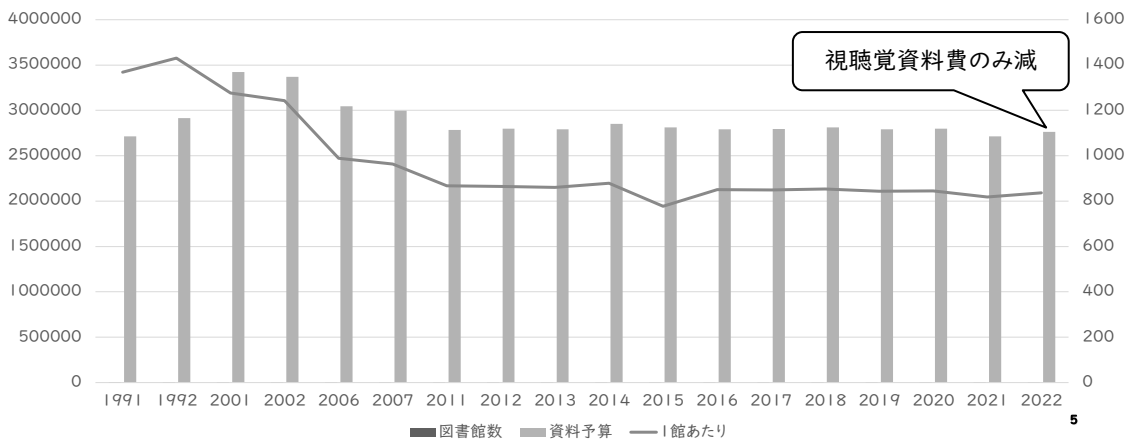
4

資料費（予算）

JLA「日本の図書館統計」

書籍の価格は上昇しているが……

折れ線：1館あたりの資料費



5

1. 現代の図書館の動向

図書館も様々な影響を受けている。
※「図書館の基礎」参照

6

何をするにも情報収集は欠かせない！（国）

図書館は成長する有機体である

- **文部科学省「図書館の振興」**

関係法令、協力者会議、調査研究報告書など

NDLサーチ1/5リニューアル
レファ協2/19リニューアル

- **国立国会図書館「カレントアウェアネス・ポータル：図書館に関する情報ポータル」**

「図書館界、図書館情報学に関する最新の情報をお知らせ」

メールマガジン（ほか、Xのアカウント等）

図書館員の研修情報もアリ

国立国会図書館「図書館員の方へ」メールマガジン『図書館協力ニュース』

- **国際子ども図書館「児童サービス・学校関係者の方へ」**メールマガジン

7

セット貸出しの告知なども

図書館員は個人的、集団的に、不断の研修につとめる。

何をするにも情報収集は欠かせない！（その他）

- **日本図書館協会** メールマガジン（ほかXなど）

「図書館員のおすすめ本」公募も

- **各都道府県の図書館協会（例：愛知図書館協会）**情報発信、個人会員登録など。
- **リサーチ・ナビ「図書館統計」**「図書館情報学」、リンク集「図書館・図書館情報学」
- **リブヨ** 関西を中心としたイベント案内、リンク集など。
- **図書館総合展** メールマガジン（登録無料、ほかXなど）

フォーラムやブースのほか、
Library of the Yearなども

- **ARG** 『LRG』FACEBOOKページ/メールマガジン/YOUTUBE公式チャンネル
- **HON.JP「週刊出版ニュースまとめ＆コラム」**メールマガジンあり
- **その他、個別の図書館のサイトや年報、個人のSNS等**

専門図書館協議会のメールマガジン
INFOSTAのメールマガジンなども

8

『図書館年鑑2023』（内容は2022）

JLA図書館実践シリーズ』
『はじめての電子ジャーナル管理　改訂版 』
『JLA Booklet』
『図書館員のための「やさしい日本語」』
など新しいサービスやトピックについて。

- **2022年のトピックス（次のスライド参照）**

・『図書館雑誌』掲載トピックス：ものづくりスペース、読書バリアフリー、

デジタルトランスフォーメーション（DX）、ブックスタート、NIE教育、大学図書館での展示イベント

・ウクライナ侵攻および新型コロナウィルス感染症の影響

・人と情報の流通に対する混乱、ウィルスの存在を当然とするポストコロナでの制度やシステムへの対応

- **国際図書館連盟と国際交流**
- **日本図書館協会の2022年**
- **公共図書館**

（以下、都道府県別、館種別と続く）

江南市「江南市立図書館」2023年開館（移転、複合施設へ）
豊橋市「まちなか図書館」2021年開館（中高生・ビジネス）
小牧市「小牧市中央図書館」2021年開館（『市民とつくる図書館』）
アンフォーレ内「安城市図書情報館」2017年開館
⇒岡部晋典編『アンフォーレのつくりかた

9

『図書館雑誌2023』2月号

トピックスで追う図書館とその周辺

- **創造的な学びとコミュニティが生まれる空間―県立長野図書館「モノコトベース」の取り組み**（横山紗央里）※参考：館内プログラム
- **鳥取県ライトハウス点字図書館における読書バリアフリーの取り組み**（酒井詩織）
- **静岡県立図書館における自治体WEBサイトクローリングシステムの開発と今後の可能性**（杉本啓輔）※参考：公共図書館における行政資料電子書籍化プロジェクト
- **山陽小野田市における「マタニティ・ブックスタート事業」の取り組み**（山本安彦）
- **日本新聞博物館の新聞を使った調べ学習に対応したプログラム開発と教材提供**（尾高泉）※参考：学習キット（学習キット一覧、活用プランや他サービスも）
- **高崎商科大学図書館における「GOOD TITLE BOOKS@TUC図書館」の取り組みについて**（高橋美樹子）参考：ワークショップ動画① ② ダイジェスト 選書リスト

10

『図書館雑誌』2023年特集一覧

どんどんアンテナを張っていこう!

月号	特集
1	全国図書館大会ハイライト
2	トピックスで追う図書館とその周辺
3	図書館の空間をデザインする
4	コロナ後の図書館員の学び・交流
5	県立図書館は今
6	既存図書館のリニューアル
7	図書館の話題アラカルト
8	図書館と展示ー資料から広がる世界
9	図書館のビジュアルアイデンティティ
10	全国図書館大会への招待/「認定司書」申請
11	表現する図書館員ー書くことのすすめ
12	2023年学校図書館の今 そしてこれから/IFLA大会レポート

なごやレファレンス探検隊の事例など

目次

12月号に1年分の著者名・件名索引、ニュース記事一覧等

11

『図書館雑誌2024』1月号(1/20発行予定)

『税金で買った本』原作者ずいの氏のエッセイも

トピックスで追う図書館とその周辺

- **読書バリアフリー法に基づく横浜市の取り組みについて**(神谷知栄)
- **岐阜市立図書館と塩尻市立図書館の司書人事交流に期待すること**(長尾勝広)
- **図書館ボランティア経験を通した不登校・ひきこもり改善・自立支援**(柳川涼司、腰越未樹)※平塚市
- **仕合わせる幸せ**(長野源世)※新潟県三条市の「まちやま道具箱」について
- **「健康コレクションマネジメントと健康情報の評価」研修会開催について**(JLA健康情報委員会)
- **今こそ漢字にふりがなを。私が考える「ふりがな再考論」 ―出版物及びデジタルコンテンツにルビ(ふりがな)の普及・活用を目指すルビ財団の取り組み**(伊藤豊)
- **インターネット・ガバナンス・フォーラム(IGF)2023京都大会と図書館**(井上靖代)
- **「図書館の非正規雇用改善のための連絡会」スタート**(小形亮)※スライド25参照

12

豊田恭子『闘う図書館 アメリカのライブラリアンシップ』筑摩選書,2022

菅谷明子『未来をつくる図書館』岩波新書,2003

映画『ニューヨーク公共図書館 エクス・リブリス』

	20世紀	21世紀
図書館とは	有形(施設・職員)	無形(アイディア、機会、つながり)
サービス対象	個人	地域コミュニティ
リソース(資源)	蔵書	蔵書、設備、場所
役割	本の貸出、情報提供	教育、経済、力、公正(4つのE)の提供
仕事の仕方	単独	連携
政策	厳格、保護重視	柔軟、アクセス重視
評価	データ(統計)、処理した件数	ストーリー(物語)、変革したもの

P.47-48 表1-2 21世紀の図書館像/出所:ボルチモア郡公共図書館ポール・ミラー館長

個人がそのとき求めるものから、
地域がこれから必要としていくものへ

4つの:エデュケーション、エコノミー、エンパワーメント、 エクイティ
※公平(イクオリティ)ではなく公正 (エクイティ)

13

休憩

質問のある方はチャットへお願いいたします。

14

目次

1. 現代の図書館の動向：動向をつかむためのリンク集

2. 図書館をめぐる国の動向と最近の動き

①読書バリアフリー法と推進計画

②著作権法改正に伴うデジタル送信の拡大

③コロナ交付金による電子書籍サービスの拡大

半分ぐらいで休憩を入れます

3. 図書館界の最近の動き

新型コロナへの対応等

4.図書館業務の外部化と職員の問題および日本図書館協会の提言・意見

①指定管理者制度と業務委託 ②職員の非正規化 ③協会認定司書

15

2. 図書館をめぐる国の動向と最近の動き

①読書バリアフリー法と推進計画（法律を踏まえての実施など）

②著作権法改正に伴うデジタル送信の拡大

③コロナ交付金による電子書籍サービスの拡大

16

2-1. 読書バリアフリー法と推進計画

このスライドのUDフォント、
アクセシビリティチェック（校閲）

文科省「視覚障害者等の読書環境の整備（読書バリアフリー）について」
（計画第1期：2021-2024）

文科省「図書館における障害者利用の促進」（講座のレジュメ、教材等）

- 国立国会図書館 「みなサーチ」正式版公開
  利用者サービス 図書館向けサービス
- サピエ図書館
- マルチメディアデイジー教科書 デイジー子どもゆめ文庫 CHATTY文庫 わいわい文庫
- LLブック リサーチ・ナビ
- りんごの棚 「りんごの棚」ものがたり（障害保健福祉研究情報システム）
- やさしい日本語 としょかんのつかいかた（名古屋市図書館）

学校図書館等における
読書バリアフリーコンソーシアム
1/28公開シンポジウム

17

2-2. 著作権法改正に伴うデジタル送信の拡大

【改正前】
31条1項1号
○複写（×公衆送信）
Faxやメールの送信は不可。
郵送で提供。

→

【2023/6/1改正後】
31条1項2号
特定図書館等では
公衆送信が可能。

→

【実施にあたっての要件】
補償金（利用者の支払い）
利用者の事前登録
責任者の設置
職員の研修……など

文化庁「著作権」 著作権テキスト
日本図書館協会「著作権委員会」『図書館等公衆送信サービスを始めるために ー新著作権制度と実務』

18

2-3. コロナ交付金による電子書籍サービスの拡大

くわしくは次回「出版流通と資料選択」で

電子図書館(電子書籍サービス)実施図書館（電子出版制作・流通協議会）

https://current.ndl.go.jp/car/194938

デジとしょ信州など、広域での導入事例も

https://current.ndl.go.jp/car/46672

学校との連携事例など

https://current.ndl.go.jp/node/46611

19

3. 図書館界の最近の動き

新型コロナへの対応

新型コロナウイルス感染症対策（日本図書館協会）

災害

『やってみよう資料保存』
『図書館資料の保存と修理　その基本的な考え方と手法』

SAVEMLAKの継続的な調査

その他のニュース

カーリルによる学校図書館支援プログラム+CHATGPTによる蔵書検索サポーターの実装

生成AIが図書館の情報サービスに与える影響<文献紹介>
図書館におけるAI利用の可能性（紀伊國屋書店）
横浜市立図書館システムリニューアル（AIが本を紹介してくれる蔵書探索AI）

20

4.図書館業務の外部化と職員の問題 および日本図書館協会の提言・意見

①指定管理者制度と業務委託

②職員の非正規化

③協会認定司書

21

4-1.指定管理者制度と業務委託

館種	導入済	導入予定	検討したが導入しない	その他、検討中、未検討など
都道府県立	7	1	36	5
特別区	124	8		
政令市	62	1		
市	353	13		
町村	67	4		

日本図書館協会の取り組み:指定管理者制度

2020年の調査（図書館数）

※指定管理から直営に戻した20館は含まない。

都道府県の導入は
・施設管理のみ3
・施設管理等3
・施設管理及び図書館業務の一部1

2016/10/01 公立図書館の指定管理者制度について−2016（PDF）

22

4-2.職員の非正規化

非正規雇用職員に関する委員会

2023年は学校図書館職員
について実態調査（1/31まで）

公共図書館における非正規雇用職員に関する実態調査結果（2020.6.8）※PDF

公務非正規女性全国ネットワーク（通称：はむねっと）

なぜ専門職の図書館司書が非正規なのに、異動繰り返す「素人」が正規職員なのか　官製ワーキングプアの構図（2022/10/29弁護士ドットコムニュース）

作家業は司書続けるため　非正規で働き執筆、佐原ひかりさんに聞く
（2023/11/05朝日新聞デジタル）

23

2022/01/24　会計年度任用職員に関する提言（抜粋）

1. 制度の趣旨に沿った実施
会計年度任用職員制度の趣旨に沿わない勤務時間数や給与（報酬）金額での任用が行われています。これらの改善と適正な任用を行うことが求められます。
（1）フルタイムの職にはフルタイムでの任用を
（2）制度の実施に伴う月額給与（報酬）の減額は行わないこと

2. より望ましい制度の実施
会計年度任用職員制度を十分に活かし、より一層の雇用の安定と待遇の改善を図る任用が行われることが望まれます。
（1）2度目以降の任用については、公募ではなく勤務実績による能力実証で行うこと
（2）給与（報酬）の経験加算（昇給）に上限を設けないこと
（3）各種の休暇を常勤職員(正規職員)と同等にすること

3. 法改正を含む望ましい制度の改革
同じ「働き方改革」の中でも、民間労働者あるいは国の非正規雇用職員の改革と比較して会計年度任用職員制度は十分なものとは言えません。今後の課題として新たな法改正を含む制度の改革が望まれます。
（1）フルタイム職員とパートタイム職員を分けることなく、同様の給与・手当の支給をすること
（2）共済組合の加入、災害補償などに勤務時間数による差を設けないこと
（3）6年目以降の任用で希望者は無期雇用にすること

24

2023/05/31 図書館非正規職員の処遇についてのお願い（抜粋）

東京新聞の報道

1. 非常勤職員、臨時職員の賃金と労働条件について、図書館職員の専門性の観点から、改善をお願いします。
2. 会計年度任用職員制度の制定の趣旨に即した適正な運用と、雇用更新時の任用では、公募ではなく勤務実績による能力実証で行なうことをお願いします。任用に当たっては、当該の職場で培われた知識と経験によって判断されることが望ましいと考えます。既に3年間十分な勤務実績を積んでいる職員については、公募によらない任用を望みます。また、やむを得ず公募する場合にも、今までの勤務実績を最大限評価することを求めます。
3. 委託業務や指定管理者に委ねる図書館の管理業務において、それに従事する職員の適正な労働条件等を確保し、図書館サービスの質の向上に資するとともに、地域経済及び地域社会の活性化に寄与することを目的に、公契約条例を制定してください。
4. 公契約条例の考え方に基づき、指定管理者の募集時における指定管理料の算定では、図書館サービス水準の向上が期待できるよう、必要にして充分な人件費を見込んでください。
「図書館事業の公契約基準について」2010 年 9 月 社団法人日本図書館協会

25

4-3.認定司書

認定司書事業委員会

司書の専門性の向上に不可欠な図書館の実務経験，実践的知識・技能を継続的に修得した方を，公立図書館や私立図書館の経営の中核を担いうる司書として，日本図書館協会が公的に認定する制度です。

この制度は，司書全体の研鑽努力を奨励し，司書職のキャリア形成や社会的認知の向上に資することを目的としています。

また，十分な知識・技能と意欲をもって図書館に勤務する司書の継続的かつ安定的な雇用が確保され，わが国の図書館全体の振興につながることが期待されています。

26

4-3.認定司書の認定要件

10年間の勤務中に……
・5年以上公共図書館に勤務
・一定時間数の自己研鑽
・8000字以上の著作

認定の期限は10年、更新は6年目から

① 公共図書館（図書館法第2条に定める図書館）に現在あるいは過去勤務していた方。

② 図書館法第4条に定める司書又は司書有資格者。

③ 勤務経験：以下のア，イいずれも満たしていること。
ア 公共図書館（図書館法第2条に定める図書館）における**勤務経験の合計が，司書資格を取得した日から10年以上**であること。又は司書資格を取得した日から公共図書館，公共図書館以外の図書館，他の類縁機関の勤務経験の合計が10年以上であること。
イ 申請時において**過去10年間のうち少なくとも5年は公共図書館における勤務経験**を有すること。

④ 申請時までの**10年間に研修受講，社会的活動等，一定の研鑽**（20ポイント以上）を重ねていること。

⑤ 申請時までの**10年間に一定の要件を満たす著作（8,000字以上）**を著していること。

⑥ 申請時までの10年間に「図書館員の倫理綱領」を遵守していること。

27

おまけ.海外での司書事情について

昨年いただいたご質問から

あまり詳しくはありませんが、いくつか参考文献を掲載します。

- **田中あずさ『サブジェクト・ライブラリアン　海の向こうアメリカの学術図書館の仕事』笠間書院,2018**

アメリカの事例です。余談ですが、アメリカの司書は図書館情報学以外にも専門がないといけないので、日本人はカナダやヨーロッパなどを目指した方が良いと、以前研修で聞いたことがあります（昔の話なので、今は違うかもしれません）。

- **江上敏哲『本棚の中のニッポン 海外の日本図書館と日本』笠間書院,2018**

勤務の話ではありませんが、海外の日本図書館等が紹介されています。日文研で全文公開されています。

- **鳥越美奈『たまたま、図書館長　それはドイツからはじまった』郵研社,2020**

勤務ではなく研修ですが、図書館振興財団の図書館員専門職海外派遣助成事業の話が掲載されています。

28

追加情報

今年いただいたご質問から

あまり詳しくなくて申し訳ありませんが、いくつか参考文献や事例を掲載します。

- **一度に複数人読める子供向け電子図書館サービスの例。**

  ポプラ社提供サービス

  ライブラリエ提供読み放題パック

  読み放題パック鹿屋市立図書館の事例

講義で20人とお伝えしたのは、児童書ではなく雑誌の方でした。申し訳ありません。訂正します。

- **マイナンバーカードでの図書館利用の例。**

  五霞町電子図書館の事例（参考欄もぜひご覧ください）

  利用カードをめぐる最近の動向（2021）

記事では実際の運用などは分かりませんので、業務上知りたいことがある場合は、やはり館に個別に問い合わせるのが良いように思います。

29

ご清聴ありがとうございました。

何かありましたら、チャットから質問をお寄せください。

30